

実施内容	血液分布異常性ショックをきたす患者に対するバソプレシンの投与
対象者	集中治療管理が必要な血液分布異常性ショックをきたす患者
承認期間	2024 年 9 月 9 日～永続的に使用
概要	【目的・方法】 血液分布異常性ショック（敗血症性ショック等）においては、早期に十分な血圧維持が多臓器不全への進行を予防することにつながります。そのため、ステロイドやノルアドレナリンといった昇圧剤が用いられますが、これらの薬剤に加えバソプレシンを併用することで、より強い昇圧効果が得られます。 【想定される不利益と対策】 高用量のバソプレシンの投与は冠動脈や腸間膜の虚血、皮膚の壊死と関連しており、十分な観察（四肢の観察、血液データの評価）を行います。 【救済制度について】 本使用により発生した副作用については、国の「医薬品副作用被害救済制度」の対象外となります。
お問い合わせ先	東海大学医学部附属病院 医療監査部 医薬品安全管理室 代表：0463-93-1121

2024 年 9 月 9 日 作成